

# むらやま 議会だより



写真／西郷認定こども園 運動会

## もくじ

- ◎9月定例会…………… P 2～3
- ◎決算特別委員会・予算特別委員会…………… P 4～5
- ◎一般質問…………… P 6～9
- ◎議会活動レポート…………… P10～11
- ◎市民の声…………… P12



←携帯からはコチラ



# 49万円 53万円 を認定

**令** 和4年第5回定例会は8月26日から9月14日までの会期で開催され、令和3年度決算などの審議を行いました。

一般会計では、にぎわい創造活性化施設整備事業、コロナウイルス感染症拡大に伴う事業、子育てスマイルプロジェクト推進事業・強い農業・担い手づくり総合支援交付金、令和2年7月の豪雨災害復旧事業、空き家対策事業、楯岡まちなか再生整備事業などで、前年度に比べて歳入で約3億9612万円、歳出で1億7004万円の増額となりました。

条例の改正など18件が提案され、一般会計補正予算、特別会計補正予算2件、決算8件は特別委員会に付託し、全議案原案のとおり認定・可決し閉会しました。

## ●歳出

**住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金**

1億7190万円

新型コロナウイルス感染症拡大により厳しい状況にある方々の生活・暮らしの支援として住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり10万円の現金を給付したものです。

## 緊急経済対策事業

8394万円

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経営状況にある市内事業者のための補助金の交付を行ったものです。

## 今こそ地元応援商品券事業

8621万円

1人当たり3千円の商品券を市民全員に配布。75歳以上高齢者、生活保護受給

## 令和3年度 決算のポイント

### ●歳入

**市税** 23億6010万円

新型コロナウイルス感染症の影響により収益が一定以上減少した中小企業者において、固定資産税・都市計画税の課税標準を軽減する措置が取られたことなどにより前年度比4822万円減少したものです。

### 地方交付税

56億1806万円

前年度比537万円増加したものです。

### 国庫支出金

27億1444万円

前年度比18億1995万円減少したものです。これは総務費国庫補助金・土木費国庫補助金の減になりました。

### 県支出金

13億17万円

消防費県負担金・教育費県補助金・災害復旧費県補助金の増加により前年度比2億3788万円増となりました。

### ふるさとづくり応援寄附金

18億1866万円

令和3年度の寄附件数は12万9645件で前年度比4万8541件の増であり、金額は6億4918万円の増となりました。

世帯、ひとり親世帯には1人1セット追加配布したものです。

**お宿でゆったりプレミアム券事業** 3782万円

市内の宿泊施設で利用できる額面2千円の券を千円で販売。販売枚数は1万5千枚としたものです。

**食べて泊って満喫プレミアム券事業** 4423万円

市内の宿泊施設、飲食店

**新型コロナウイルスワクチン接種事業**

1億4234万円

国の方針に基づき1回目から3回目ワクチン接種を実施したものです。

# 令和3年度 一般会計決算総額

# 特別会計決算総額

# 177億3,6

# 63億6,8

## 子育て支援医療給付事業

7414万円

中学生以下の医療費自己負担助成を拡充し、令和3年度より高校生入院医療費自己負担を助成し、子育て支援を図ったものです。

## 子育てスマイルプロジェクト推進事業（がんばる高校生応援金）

2965万円

村山市の高校生などを持つ保護者に5万円を給付し教育費負担を軽減するものです。

## 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業

1434万円

ブルガリア新体操ナショナルチームの事前キャンプ受け入れを中心としたホスト事業を実施し、団体は「金メダル」を獲得したものです。

## 楯岡まちなか再生整備事業

2億6399万円

楯岡地区（第2期）都市再生整備計画に基づく街路や道路などの事業を実施したものです。

## 市道除雪委託

4億9010万円

道路除雪により、冬期間の市民が快適に暮らすことができる住環境の確保を図ったものです。



市民が快適に暮らすための除雪作業

## 中学校校舎等整備事業

7199万円

楯岡中学校屋内運動場屋根外壁長寿命化改修工事、葉山中学校体育館ギャラリースチールドア交換工事を実施し、学校施設の維持と機能向上を図ったものです。

## 農業施設災害復旧事業

3億7481万円

令和2年7月豪雨に伴い被災した農業用施設ならびに農地の復旧を行ったものです。

## 公共土木施設災害復旧事業

8124万円

市道の災害復旧工事を行い、市民生活における安全の確保を図ったものです。

## 議決結果一覧

件名	議決結果
令和3年度村山市一般会計歳入歳出決算の認定について	(全会一致で認定)
令和3年度村山市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(全会一致で認定)
令和3年度村山市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	(全会一致で認定)
令和3年度村山市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(全会一致で認定)
令和3年度村山市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(全会一致で認定)
令和3年度村山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(全会一致で認定)
令和3年度村山市水道事業会計決算の認定について	(全会一致で認定)
令和3年度村山市下水道事業会計決算の認定について	(全会一致で認定)
村山市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	(全会一致で可決)
村山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	(全会一致で可決)
村山市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	(全会一致で可決)
村山市過疎地域固定資産税課税免除条例の一部を改正する条例について	(全会一致で可決)
村山市児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	(全会一致で可決)
令和4年度村山市一般会計補正予算（第3号）	(全会一致で可決)
令和4年度村山市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	(全会一致で可決)
市道路線の認定について	(全会一致で可決)
教育委員会委員の任命について	(全会一致で同意)
人権擁護委員候補者の推薦について	(全会一致で同意)

# 令和3年度 決算特別委員会

決算特別委員会は、本会議において設置され、付託された議案は、令和3年度一般会計歳入歳出決算1件と国民健康保険事業などの特別会計決算7件です。  
各分科会での「議員の指摘」を掲載しました。

## 総務文教分科会

## 産業厚生分科会

●村山市公式LINE  
アカウントサービスは市の情報が迅速に取得でき、利便性に優れていることを評価します。さらに多くの市民が利用出来るよう、より魅力ある情報発信を要望します。

●生活交通対策事業に  
ついては、市営バスの乗車人数が回復してきていますが、事業内容の抜本的な見直しなどを含めた内容の研究も要望します。

●農業者の高齢化や後継者不足という喫緊の課題などについて関係課と連携して検討されることを要望します。

●重点作物については  
今後、栽培技術の支援が重要と考えます。先端的な栽培技術を持つ方の情報を、新しく取り組む方に提供するなど、体系的な取り組みを行うよう要望します。

●子育てに関する支援  
が多岐にわたるため、対象が分かりづらくなっています。子どもの年齢や人数など、統一した基準を用いることでより効果的な周知が出来るよう、関係各課が連携して取り組むことを要望します。

●すこやか出産祝い金  
は子育て世帯の負担軽減とともに人口減少対策に寄与するが、人口増加を目指すためには、第3子以降への施策が特に重要なことから、多子世帯に重点を置いた支援についての検討を要望します。

●犬の登録事業は、適切な運用が行われていますが、近年は猫の多頭飼育など適切な管理が出来ていない事例が散見されます。飼い主への指導を強化しているとの事ですが、さらに踏み込んだ具体策についての検討を要望します。

●空き家対策として、不良住宅除却事業の推進を評価します。今後は、この事業の推進にあわせて、空き家を生まない取り組みの検討を要望します。



重点作物の一つ「モモ」の収穫

●公共施設等総合管理計画については、「Link MURAYAMA」がオープンし、新たな施設が増えた一方で、既存施設の統廃合などが進まない現状にあります。公共施設全体の状況を再度把握し、長期的な視点を持って計画的に進めることを要望します。

●財政の経常収支比率は、大幅に改善されておりませんが、人口減少や少子高齢化の中で、自主財源の確保が困難であるという状況に変わりはないため、より一層の計画的な財政運営を要望します。

●工事監査については、大規模工事などが適正に執行されているかを検証するもので、市民に対する健全な行政執行を担保するという重要な役割を担っていることから、コロナ禍においても適切な対応のうえ実施するよう要望します。

●駅西地区の開発が本格化する中で、今年、高速道路が全線開通する。企業誘致の好機であり、新工業団地について関係機関と調整を進めるよう要望します。

●生きがいの充実や社会参加を希望する高齢者が増加しています。高齢者が生き生きと活躍できる社会づくりに積極的に取り組むよう要望します。

●除雪事業については、委託方式を変更しましたが、事業を検証し、改善すべき点があれば積極的に改善を行い、市民が生活しやすい除雪体制を構築するよう要望します。

# 予算特別委員会

一般会計予算  
総額

5億9,760万円を追加し、  
165億7,711万円

今回の主な補正予算は、緊急支援対策、農業振興、子育て支援に伴うものです。より慎重な予算審議を行うため、予算特別委員会を開催しました。

## 補正予算の

### ポイント

#### 緊急経済対策事業

8170万円

新型コロナウイルス感染症の長期化や原油価格、物価高騰の影響が大きいことから、市独自の緊急支援事業を追加実施するものです。

#### ① 事業継続緊急支援給付金

令和4年4月から9月までの売り上げが平成31年4月から令和3年9月までのいずれかの年の同月と比較して、20%以上減少している市内事業者に対して、減少した月の差額の合計の50%を給付するものです。（上限額 法人20万円、個人事業主10万円）

#### ② 運送事業者等緊急支援給付金

市内で貨物事業者運送事業、軽貨物事業者運送事業、旅客自動車運送事業、内陸水運業、運送代行業を営む中小企業・個人事業主に対して、1台あたりの給付額に、令和4年9月1日現在の保有台数を乗じた額を給付するものです。（トラック・バスは1台あたり3万円、軽貨物・タクシー・舟・運送代行車は1台あたり2万円）

#### ③ 原油価格・物価高騰緊急支援給付金

①、②対象外事業者に、令和4年4月から9月までに支払った燃料費・光熱費の合計の20%を給付するものです。（上限額 法人10万円、個人事業主5万円）

#### 農業振興事業等

918万円

農作物等災害対策事業は、今年7月の突風被害を受けたハウスの復旧をするものです。経営継承発展などの事業は、地域農業の担い手の経営を継承した後継者による経営発展に向けた取組を支援するものです。

#### 非常備消防運営費

1146万円

消防団員の報酬を増額するものです。（団員報酬年額1万8000円を3万6500円などに改めます。）

#### 福祉暖房費助成事業

2730万円

福祉暖房費支援補助費で、本年に限り、従来の5千円から1万円に増額するとともに、従来の非課税世帯から住民税均等割のみ課税されている世帯を加え、支給対象を拡大するものです。

#### 放課後児童健全育成事業

850万円

地域子ども・子育て支援事業 299万円

放課後児童支援員の処遇改善と、新型コロナウイルス感染症対策のための補助金を増やすものです。国・県、市がそれぞれ3分の1ずつ負担するものです。

#### 低所得子育て世帯特別給付金給付事業

2250万円

児童扶養手当受給世帯や非課税世帯、均等割のみ課税されている世帯などの低所得子育て世帯を対象とし、18歳以下の子ども1人あたり5万円を給付するものです。

## 議員の主な

### 質疑内容

Q むらやま人の流れ創出事業の内容は

A 地域内のさまざまな特産品を発掘して、オンラインショップなどを利用した物流を確立させるための人材を育成する事業である。

余暇開発公社を事業主体とし、公社自体の人材育成や物販部門の販路拡大につなげたいと考えている。目標としている定住人口拡大に向けて、交流人口や関係人口を拡大・創出する。

Q 農道等補修事業の内容は

A 河島八反地区の農道（長さ200m、幅3m×4m）の補修をするものです。工事費の6割を受益者負担としている。

Q 農林業緊急支援対策事業のうち、農業物価高騰等緊急対策事業補助金の内容は

A 肥料高騰と家畜飼料高騰に対して支援するものです。農業者の次期作へ向けた営農意欲の維持・継続を図るため、市では一定規模以上の農家へ国の支援に上乗せして給付する。



細矢 清隆

### 市内35のため池は 全て安全なのか

答弁 各ため池の管理者が

点検を実施している

動画はこちら



**Q** 8月の西置賜地域  
の豪雨により、川  
西町のため池が崩壊し  
た。誰もが安全だと思  
い込んでいたが堤体か  
ら越水し崩壊した。こ  
のことから市内にある  
35のため池の安全対策  
について伺う。

**A** 35のため池にそれ  
ぞれの管理者が、  
草刈り、点検を行って  
いる。点検については  
大雨などが想定される  
梅雨期、そして6月、  
9月に管理者が定期的  
に実施している。  
特に地元自治会管理  
のため池については、  
県と市が点検に立会い  
技術的な指導を行い適  
切な維持管理を行って  
いる。大雨時に貯留水  
が堤体を超えないよう  
に堤体の一部を切下げ、  
洪水吐けを取付け、2  
00年に一度の大雨に  
対応している。これを

超えるような大雨に備  
え管理者は水を事前に  
放水して水位を下げる  
対策を取っている。  
また、ハザードマッ  
プは、地域の意見を取  
り入れながら作成して  
おり、HPに掲載し、  
各地区に配布、公民館  
へ掲示などで周知して  
いる。災害に備え避

難については、ハザード  
マップを確認して、  
住民が行動できるよう  
な意識づくりを行って  
いく。

#### その他の質問

- ・ 個別避難計画と避  
難行動要支援者
- ・ 本庁舎の防犯訓練  
について

このため池は大丈夫か？



このため池は大丈夫か？



吉田 創

### 自己水源の確保が 重要と考える

答弁 自己水源調査を

今秋から開始する

動画はこちら



**Q** 本市の水道の水源  
は、ほぼ全て村山  
広域水道で賄ってい  
る。依存率は99・4%  
と村山広域水道地域内  
で1番高い割合になっ  
ている。依存すること  
で、豪雨時に濁りが発  
生し、断水などの問題  
がある。今後生活に必  
要不可欠な安定した水  
を安心・安全に使える  
ことが重要である。今  
後の自己水源の確保に  
ついて伺う。

**A** 市内の水道は村山  
広域水道に大きく  
依存しており、豪雨や  
地震で断水のリスクが  
ある。自己水源につい  
ては心配している。幕  
井ため池改修工事が令  
和6年度に完成予定の  
ため自己水源に出来な  
いか今秋から調査を開  
始する。

本市の家庭用の水  
道料金は山形県内



災害時の自己水源調査を行う楯岡浄水場  
(上空図)

13市中2番目に安い順  
位となっている。水は  
毎日使用するため、特  
に子育て世帯などの生  
活費軽減になっている。  
しかし、今後人口減少  
により水の需要が減少  
し、料金収入もあまり  
見込めないことから水  
道料金については値上  
げが心配される。今後  
水道事業を健全に維持  
し、市民に安心・安全  
な水を提供し続けてい

くために広域連携が必  
要と考えるが、今後の  
対策は。

**A** 10年、20年先を見  
据えて水道事業を  
安定的に継続していく  
ために、近隣自治体と  
の広域連携を検討する  
必要がある。

#### その他の質問

- ・ 村山市内流域治水  
の取組みについて



田中 正信

### 水道事業に係る

#### 中・長期的展望について

答弁 水道事業の重要性に鑑み

引き続き努力する

動画はこちら



阿部 正任

### 観光拠点づくりと

#### 市道環境整備について

答弁 村山の魅力発信を考える

動画はこちら



**Q** 水道事業の令和3年度業績について伺う。

**A** ①給水人口が減少しており厳しい状況にある。

②令和3年度の収支は、純利益が1538万円となり、黒字決算に好転した。

③負債と資本の比率は、前年より負債の割合が低下し、財政の健全性は確保されている。

**Q** 全国で埋設されている水道管のうち、震度6強程度の地震に耐えられる割合を示す「耐震適合率」は4割である。本市の「耐震適合率」はどうか。

**A** 本市の耐震適合率は、36%であり、今後改善に向け計画的に取り組む。

**Q** 本市の水道料金は、県内13市の中では「高いか」「安いかわい。



楯岡低区配水池（楯岡笛田地内）

**A** 一般家庭用の料金は、県内13市の中で2番目に安い。これは、子育て世代をはじめ、市民生活を支援するための施策である。また、口径の太い事業所用は、安い方から8番目である。

その他の質問  
・地方自治を下支える「町内会の活動・活躍」を後押しする施策について  
・ヤングケアラーに対する支援について

**Q** 東北中央自動車道の区間開通に伴い来訪者も増えると思われる。バラのまちのシンボルとして整備が進められているバラ回廊ロードや、市内観光地へ向かう各市道の、草刈りやゴミ拾いなどの道路環境維持は地区住民の一斉作業や他組織などの力も借りて行われている。

人口減少、高齢化、地域力の低下で現状を維持するのは難しい。県でも導入している小型除雪車用草刈り装置を本市も導入し、きれいな市道の維持管理にあたるべきではないか。

**A** 行政だけでなく、住民の協力を得ながら行っている状況である。新しい技術の導入には調査、検討する。

**Q** 市西部には、基点温泉を中心とした、グランピングやキャンプ場の宿泊施設、さらにフットパスコースや舟下り、また、ジュンサイ摘み取りや、森林トレッキング、川遊び体験もできる宿泊施設のある大高根地区へも観光ルートが伸びている。

**A** 体験ツアーなどの案、発信を行っていきたい。地域おこし協力隊の採用は考えていない。



県導入の小型除雪車用草刈り装置



柴崎 亮太

## 人口減少・少子化について どう考えるか

答弁 大きな問題である

動画はこちら



**Q** 人口減少が確実視されている中、どのように市政運営を行うっていくのか、また現在の出生数の減少および社会動態による人口減少に対する危機感について伺う。

**A** これまでも強い関心を持って施策を打ってきたが、これからも時代に合わせ、支援を変える・増やす・減らすなど対応していかなければならない。

**Q** 村山産業高校の入学人数が減少している。特に冬季間の通学に対する利便性の悪さが原因の一つとして考えられる。本市への貢献度、生徒の安全面を考慮の上で、市としても支援を検討してはどうか。

**A** 通学バスを運行するのは一番良いのではないかと思ってい



多様な遊びを展開出来る『プレーカー』

る。学校所有のバスを借りて運行するなど、予算上の事も含めて協議していきたい。

**Q** 移住・定住に向けた取り組みについて、村山市のアピールを一段と加速させるために専門職の配置を検討してはどうか。

**A** 検討してみたい。

**Q** 子どもの遊び場の確保について広場を活用した移動式遊び場『プレーカー』というものがある。本市でも検討してはどうか。

**A** 研究させていきたい。



高橋 卯任

## 北村山地域間の連携が 重要と考えるがどうか

答弁 現状は問題ないと認識している

動画はこちら



**Q** 今後、本市の人口は、大きく減少していくと推測されている。安定した行政サービスを、単独の市町村だけで提供する発想は現実的ではなく、広域連携の必要性は高まっている。併せて、北村山地域の広域連携が重要になると考える。本市が関わる4つの一部事務組合の現状に対する認識を含め、北村山地域広域連携の今後のあり方について伺う。

**A** 広域連携とは、各施設の立地場所も含め、構成する市町村の利益を考えて連携されている。その連携が必ずしも北村山地域という枠に捉われるものではない。また、各組合において、中・長期財政計画を含む各種計画が示され、各組合議員の意見を聞き、了解

を得て効率良く進められていることから、現状は問題ないと認識している。

**Q** 北村山地域全体の課題を議論できるプラットフォームが必ず必要と考えるがどうか。

**A** 各組合議会の中で発言するなり、若しくは、幹事会などの場で議論するなど、みんなが協議し合っていくことが、本来の筋ではないかと思う。



北村山視聴覚教育センター



北村山公立病院



広域斎場「妙光苑」



クリーンピア共立

広域連携で運営されている各施設





中里 芳之

### 補聴器購入への助成を

答弁 もう少し

研究させてほしい

動画はこちら



**Q** ①市内の高齢者の「聞こえ」の実態は。  
②加齢性難聴と認知症の関係や、補聴器の有効性に対する認識は。

**A** ①市の調査では、「聞こえ」について異常があると認識している人が7%おり、「聞こえづらい」が理由で外出を控えている人が12・4%いる。  
②国の認知症施策推進総合戦略で、認知症の危険因子に難聴が加えられた。補聴器などによる介入は、認知症予防に有効だという論文を認識している。

**Q** 補聴器の普及は、認知症の予防、健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながる。補聴器購入への助成制度創設を。

**A** もう少し研究させてほしい。

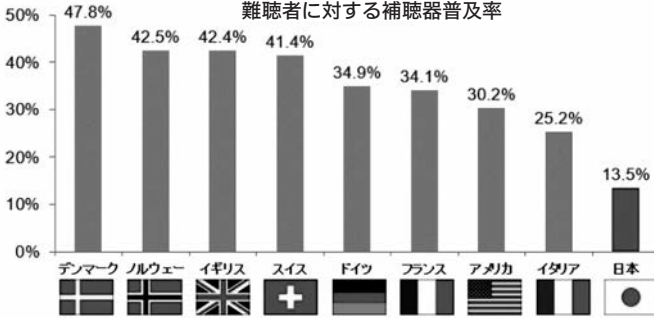
**Q** コロナ第7波では高齢者や基礎疾患のある方が重症化しやすい。高齢者施設での検査状況は。

**A** 感染リスクが一定程度高まった場合（クラスター発生）週1回検査をおこなっている。

**Q** クラスターが発生してからでは遅い。検査を週2回に引き上げる必要があると考えるが。

**A** 市が検査の負担をしてもいいが、労力的に大きな負担が伴う。今のところ市でやるつもりはない。

日本の補聴器利用者約200万人



出典：一般社団法人 日本補聴器工業会 「Japan Trak 2015」

補聴器普及率グラフ



高橋菜穂子

### 河西エリアの

### 教育強化ゾーンの今後は

答弁 幼老連携施設のような

ことも考えている

動画はこちら



**Q** 先だって示された「河西エリアの今後の方針」には、教育強化ゾーンは葉山中学校周辺とし、福祉施設についても検討すると記載されているが、考え方について伺う。

**A** 葉山中学校周辺が、そういった場所になるということとは、ある程度考えている。福祉事業と保育事業を同施設にして、子どもと高齢者の交流ができるような施設（事業所）という話もある。今後そのようなことも含めて考えていきたい。

**Q** 就学前の発達障害児の支援体制について伺う。

**A** 保育施設などで家庭相談員と保健師による訪問、早期支援に結び付け、保育施設と併用しながら、児童発達支援事業所におい

て、適切な支援をしている。通常通所する園において、保育士の加配が必要な場合には保育施設の判断で行っているが、現状では加算が1施設当たり、5万円/月である。

**Q** 加配保育士を設置する場合には、市独自の財政的な支援が必要ではないかと考えるがどうか。  
**A** 独自の支援については、現在の制度と必要性を研究し、必要なら検討してみたい。



児童発達支援事業所「いずみ」

## 一般質問

※一般質問のQ&Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。

総務文教常任委員会  
行政視察

●7月22日

最上町の再生可能エネルギーの取り組みについて視察を行いました。最上町では、町内にある町立病院や高齢者施設、福祉センターなどが集約されたウエルネスタウンにて、木質バイオマスエネルギーによる冷暖房の供給を行うバイオマスボイラの仕組みについて説明を受けました。

次に同町内にある若者定住モデルタウンの視察を行いました。モデルタウン内には住居



モデルタウン内のバイオマスボイラ設備

すべてに、木質チップを使用したバイオマスボイラによる暖房の供給、給湯が行われています。また、タウン内の道路は地下水熱を利用した無散水消雪が行われており、雪が積もらない街づくりが行われておりました。

最後にこれらのシステムを稼働させるために必要な木質チップの生産工場の視察を行いました。設備の省力化により、最小限の人数での生産を可能にするなど、人口減少下でも持続可能な生産体制が確立されていました。



木質チップの生産工場

活性化議員連盟  
林活視察

●7月12日

白鷹町の町役場や、中央公民館などの機能を兼ね備え2年ほど前に完成した、街づくり複合施設を訪れました。



図書館も併設されている複合施設

以前の役場庁舎、中央公民館は老朽化への耐震対応に迫られており、近年頻発する災害に備え、町民が安心安全に避難できる場所が必要とされておりました。また、最近の豪雨災害では山腹崩壊や立木の流出が相次ぎ、地元の資産である森林の整備、林業の再生も急務という背景もあり、

白鷹産木材を活用した公共施設整備への取り組みによってできた施設でありました。

町内のおきたま木材乾燥センター(株)で乾燥・製材された町内産スギ材をふんだんに使い、地元業者によって施工され、町民ラウンジや町立図書館も兼ね備えた木のぬくもりや迫力が感じられる街に受け込んだ施設でした。



町内産スギの木材乾燥・製材センター

その後、飯豊町にある肥育牛の排せつ物などを原料とした、バイオガス発電所にも視察を行いました。

市政・公明クラブ  
行政視察

●7月13日

茨城県下妻市は、人口減少社会が予想される中、「人と自然を生かし住み良さを創るまち」下妻市の実現のため、持続可能な行政運営を目指し各種施策を展開している姿を研修し、活発な意見が出されました。



「waiwaiドーム しもつま」を視察

●7月14日  
東京都台東区の公共施設は、学校と社会教育施設が「複合化」しており、小学校と幼稚

園、社会教育センター、温水プールの4つの施設が一ヶ所に集約されています。その結果、児童が生涯学習を続ける地域住民の姿を、普段から感じ取れる環境で生活でき、他校には得がたいことです。文化、スポーツ活動の地域の後継者として意識向上が期待され、また、公共施設が複合化することによって、施設の維持管理費を削減できるメリットがあります。本研修を通し活発な意見交換を行いました。



複合センターを視察

# 議会活動

## 北村山公立病院 組合議会定例会

●7月19日

第2回定例会が開催され、令和3年度決算認定および職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての2議案を可決しました。

令和3年度決算は、新型コロナウイルスの影響による入院患者数の減により医業収益は減となったものの、補助金の受け入れによる医業外収益の増などにより、前年度と比較し8300万円収支が改善し、結果として9900万円

の純損失を計上することとなりました。

全員協議会では、中期財政計画の変更について①令和3年度決算及び予算を踏まえた収支の見直し②資産購入及び環境整備年次計画の見直し③新病院建設の係る費用及び実施年度の見直しを反映した内容に改めていること、新病院整備基本構想策定については、令和4年7月から令和5年6月までに策定することなどの説明がありました。また北村山公立病院重要事業について山形県知事へ「広域的な地域医療を担う一部事

務組合立医療機関への財政支援について」要望を行ったことも報告がありました。



感染対策を行う外来入口

## 共立衛生処理組合 議会定例会

●7月25日

第2回定例会が開催され、決算認定を含む7議案を全会一致で可決しました。令和3年度決算認定については、予算30億9718万円

に対し、歳入31億4199万円、歳出30億5087万円、差し引き残額は9111万円となりました。

個人情報保護条例、職員の勤務時間、休暇、育児休業などに関する一部条例が改正されました。職員の妊娠、出産、育児などと仕事の両立を支援するため、特別休暇の承認基準に不妊治療のための休暇規定を追加し、通院や体外受精などの不妊治療に関わる場合、年5〜10日の特別休暇が与えられます。また、育児休業を申し出た際、育児休業に

関わる研修の実施、相談体制の整備、勤務環境の整備に関する措置を講じる改正を行いました。

## 広域斎場事務組合 議会定例会

●9月1日

定例会が河北町議会で開催されました。議案は、令和3年度組合会計決算について、歳入総額は、6952万円、歳出総額は6221万円となりました。決算総額を前年度と比較すると歳入0.74%の減額、歳出は2.14%の減額となっ

ています。歳入については、予算現額に対し101.12%、調定額に対し100%の収入率となっております。歳出については、予算現額に対し90.50%の執行率となり、654万円の不要額となりました。

なお、実質収支額は731万円で、実質単年度収支額は85万円です。次に、令和4年度組合会計第1回補正予算については、歳入歳出の総額にそれぞれ331万円を追加します。以上2議案を、原案通り可決し閉会しました。

## 7月

- 7日 社会を明るくする運動メッセージ伝達式  
議会運営委員会
- 8日 議会だより編集委員会  
主要地方道新庄次子村山線  
道路改良促進期成同盟会総会  
北村山公立病院組合議会運営委員会
- 12日 活性化推進議員連盟林活視察研修
- 13日 市政・公明クラブ行政視察（～14日）
- 15日 議会だより編集委員会
- 19日 共立衛生処理組合議会運営委員会  
北村山公立病院組合議会全員協議会・  
定例会
- 20日 財産区管理委員選挙関係会議  
全員協議会・会派代表者会議
- 22日 Link MURAYAMAプレオープン記念式典  
総務文教常任委員会行政視察
- 24日 市長杯ゲートボール大会
- 25日 市自衛隊協力会総会  
共立衛生処理組合議会全員協議会・定例会
- 28日 最上川上流村山地区改修期成同盟会総会
- 29日 議会運営委員会  
県市議会議長会議員研修会

## 8月

- 5日 会派代表者会議
- 8日 ブルガリア新体操団体総合金メダル  
獲得記念碑除幕式
- 9日 東北中央自動車道（東根～尾花沢間）  
建設促進協議会総会
- 15日 戦没者追悼式
- 16日 総務文教常任委員会協議会
- 17日 産業厚生常任委員会協議会
- 18日 広域斎場事務組合議会運営委員会  
全員協議会
- 19日 徳内神社例大祭
- 22日 議会運営委員会  
議会だより編集委員会
- 26日 全員協議会・本会議  
決算特別委員会・予算特別委員会
- 30日 一般質問（～9月1日）

## 9月

- 1日 広域斎場事務組合議会全員協議会・定例会
- 5日 決算特別委員会・予算特別委員会
- 6日 常任委員会・決算分科会（～8日）
- 9日 秋のバラまつりオープニングセレモニー
- 10日 国会議員との懇談会
- 12日 常任委員長会・決算分科会委員長会  
議会運営委員会
- 14日 全員協議会  
決算特別委員会・予算特別委員会・本会議  
産業厚生常任委員会協議会
- 21日 議会だより編集委員会
- 22日 運営指針作業部会
- 23日 第6回最上川5-mileマラソン
- 28日 議会だより編集委員会
- 30日 県森林・林業・林産業活性化  
促進議員連盟総会



## ～夢の実現のために～

弊社（株式会社 矢萩土建）は主に村山市内の道路工事や河川工事などの公共工事と、地域の方々より依頼を受ける住宅関連の事業を行っており、「多くの人々の夢をかなえると共に我々の夢の実現のために」を経営理念とし社員と共に業務にあたっております。



矢萩 翔一 さん  
(西 郷)

新規事業として、昨年12月より245skateparkの運営を開始しました。本事業の前身として、自分たちが楽しむ目的で西郷の仲間と20年以上に渡りDIYで施設を作ってきました。年月を重ねるごとに県内外に浸透し、単純な動機で始まったことが事業になるまで昇華しました。現在はオリンピックを目指す選手や地元プロなど、県内外から愛好者で賑わっております。

今後も仲間との繋がりに感謝し、地域に魅力的な場所を創造し続け、未来を担う子どもたちに大切なことを伝え「多くの人々の夢をかなえる」事業としてまい進して参ります。



245skateparkにて



地元の仲間たちと共に



多くの利用者と賑わっています！

### 〈表紙写真〉

天気にも恵まれ、秋風が心地よい最高の運動会でした。たくさん練習した子どもたちの顔は自信に満ちており、保護者の方には笑顔が溢れていました。

◎西郷認定こども園 園長：鈴木聡子 ☎(55-5540)

#### 【教育目標】

- ・元気にあいさつできる子ども
- ・友達と仲良く遊べる子ども
- ・何でも喜んで食べようとする子ども

【園児数】……計18名

年少：4名 年中：8名 年長：6名



たくさん練習しました！

### 議会のインターネット中継をやっています

- ◎本会議だけでなく全ての会議が原則公開です。  
会議の予定はホームページなどでお知らせしますので、ぜひインターネット中継をご活用ください。
- ◎インターネット中継配信 詳しくは、  
<https://www.city.murayama.lg.jp/shisei/gikai/index.html>  
村山市議会→議会中継  
(ライブ中継・録画中継、外部リンクより)



↑携帯からは  
コチラ

委員 副委員長 委員長

石澤 祐一  
菊池 貞好  
田中 正信  
阿部 正任  
高橋 卯任  
吉田 亮太  
柴崎 亮太

議会だより編集委員会